

○ 本校の概要

○開校67周年 児童数933名(5月1日現在) ○学級数27学級 特別支援教室(3担任)拠点校 ○教職員数55名:校長1 副校長1 教員35名 養護教諭2 栄養士1 事務1 専門員1 講師5 事務補助1 副校長アシスタント1 特別支援補助員2 教員支援員1 読書学習司書1 学習補助員兼 理科支援員2 (民託:用務2 交通誘導員2 警備3 給食5)

○令和2・3年度大田区教育委員会教育研究推進校 令和3・4年度東京都教育委員会情報教育研究校 研究主題「Society 5.0に向けた梅田小の教育～プログラミング教育における授業デザイン～」(Viscuit・Scratchのソフト、ArtecRobo、CodeyRocky、MESHの活用)、アンブラド(パソコンを使用せず、プログラミング的思考を育む授業)、情報モラル、全校Scratchプログラマーの取組、研究発表会、令和3年10月22日(金)実施、さらに、児童一人1台のタブレットを活用した授業・家庭学習の推進(教員方・学習方改革)、校務のスマート化の推進(働き方改革)。

○梅田の学び「うわあ～大発見!」「めざせ!」Oマター「これとでも伝えよう!」の推進、自主学習ノートのすすめ、O学年朝会の実施、O「読先礼」の励行、O全校朝会での校歌斉唱、O校長の会食、O校内での俳句表彰、O低学年・高学年別体育・音楽朝会、Oロング昼休み、O体育的活動「梅田ハッピータイム」、O読解力向上一校一取組(低学年)科学的読み物の推進(高学年)新聞を読み、まとめることを推進、O読書の記録の表彰

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include: ブラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成, ブラン2 児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます, ブラン3 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重するなど、未来への希望に満ちた豊かな心を育みます, ブラン4 スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします, ブラン5 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり, ブラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。